



豊かな自然・
かがやく文化
大好き阿賀町

～「阿賀町15年教育」で未来の創り手を育む～

阿賀町学習指導センターだより

令和3年11月2日（火）№19

授業づくり2 上川小 佐々木 亮太 先生

第4学年社会、単元は「自然災害にそなえるまちづくり」～地震にそなえるまちづくり～です。本時のねらいは「地震や土砂災害に備える人々の取組に着目し、自分自身が確実に身を守るために大切なことについて考えることができる。」でした。本時は、10時間中8時間目の計画です。

ここを学びたい～図にまとめ、複数の視点から認識させる～



佐々木先生は、学習で明らかにしてきた事実を、「阿賀町で起こり得る災害」を中心に置き、県や町、そして個人の取組を整理し、模造紙にまとめていらっしゃいました。

このように、既習の学習内容を、図にまとめ、事実のつながりを視覚的に捉えさせることは、子どもたちにとって、羅列された文字情報よりも、認識しやすくなると思います。図化の有効性を改めて感じました。

ちよびっと提案 ～シンキングツールを使ってみる～

「シンキングツール」は、子どもたちの考えることを手助けします。図化することで、対象の共通点を見つけたり、複数の性質に着目したりすることができます。

本授業の場合であれば、一つのトピックに対し、複数の視点で捉えることができる「くま手チャート」や「Yチャート」、「PMI」などが考えられます。

「シンキングツール」は、「深い学び」を実現する有効なツールです。「『ロイロノート・スクール』シンキングツールを学ぶ」では、それぞれのシンキングツールの事例が紹介されています。積極的な活用をしていきましょう。(➡続く)



➡阿賀町西川小で勤務され、現在附属新潟小学校で活躍されている、中野裕己先生の「教科の学びを進化させる 小学校授業 アップデート シンキングツール×ICT ×オンライン×家庭学習」も参考になります。ぜひ、お読みください。



ここを学びたい～インターネット検索スキル～



調べ活動で、子どもたちは、検索エンジンに学習のキーワードを手際よく入力し、情報を得ようとしていました。検索キーワードについては、発表を通して共有したり、佐々木先生が個別指導したりして、子どもたち1人1人に選択させていらっしやいました。

子どもたちがネットを使って調べるスキルが高まっている様子が見て取れました。佐々木先生の継続的な指導が伺えました

注意したい、ネット情報の取り扱い

ご承知のとおり、子どもたちの得たい情報が手に入るとは限りません。それに、せっかく情報にたどり着いたとしても、必要な情報がどうか、その判断が子どもに困難な場合、また、子どもが内容を理解、解釈することが困難な場合が多々あります。

そこで、授業者が教材研究を通じて明らかにした有効なサイトに関する資料を準備する等も大切です。同時に、全校体制による子どもの情報活用能力の育成を進める必要があります。すでに各校におかれましては、指導計画を整え、充実した指導を進めていらっしやることと思います。引き続き、取組の推進をお願いします。

～「授業アイデア例」を活用し全校体制での一層の授業改善を～

国立教育政策研究所教育課程研究センターより、全国学力・学習状況調査結果を踏まえた小冊子、「授業アイデア例」が配本されました。本小冊子には、「本調査で見られた課題は、調査の対象学年だけではなく、学校全体で組織的・継続的な取組によって改善を図っていくことが大切です」と記されています。

小冊子を手掛かりに、自校の課題解決の方法を検討、共有されて、全校体制での授業改善の取組をさらに進めていただきますようお願いします。

発行 阿賀町学習指導センター

〒 959-4392 東蒲原郡阿賀町鹿瀬 8931 番地1

☎ 0254-92-3337(直通) ☎ 0254-92-2116

E-mail kohiyama_hyk4042@town.aga.lg.jp kyoiku3@town.aga.ed.jp



町の鳥 ウグイス